

**CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」において
最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」
に選定**

— サントリーグループとして4年連続で選定 —



CLIMATE WATER

サントリーホールディングス（株）は、環境情報開示システムを提供する国際的な非営利団体であるCDPが実施する「サプライヤー・エンゲージメント評価」において、最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されました。サントリーグループとして4年連続での選定となりました。

なお当社は、「気候変動」「水セキュリティ」でも最高評価の「Aリスト企業」としてそれぞれ5年連続、8年連続で選定されています（ニュースリリースNo.14532 参照）。

CDPは、企業や都市の重要な環境情報を測定・開示・管理・共有するための国際非営利団体で、その環境情報開示と評価は、企業の環境情報開示におけるグローバルスタンダードとして広く認知されています。

同機関が実施する「サプライヤー・エンゲージメント評価」は、気候変動に関する調査のうち、ガバナンス・目標・Scope 3 排出量・バリューチェーンエンゲージメントの4つの項目から評価が行われます。

サントリーグループは、自然と水の恵みに生かされる企業として、「人と自然と響きあい、豊かな生活文化を創造し、『人間の生命（いのち）の輝き』をめざす。」をパーパスとし、創業以来、持続可能な社会の実現を目指してきました。

気候変動については、2050年までにバリューチェーン全体で温室効果ガス（GHG）排出の実質ゼロを目指しています。その達成に向け、「サントリー環境目標2030」において2030年までにGHG排出量を自社拠点で50%削減※、バリューチェーン全体で30%削減※することを掲げ、さまざまな取り組みをグローバルに進めています。

今回は、掲げているGHG削減目標や Scope 3 排出量の把握、気候変動の分野におけるサプライヤーとのさまざまな協働が総合的に評価されたものと考えています。

※2019年の排出量を基準とする

今後も、我々の事業活動において最も重要な資源である「水」のサステナビリティの追求、再生可能エネルギーやグリーン水素などを活用したGHG排出削減への取り組み強化、循環経済の推進、生物多様性の保全・再生など、持続可能な社会の実現に向けたグローバルな社会課題の解決に向け、グループ一丸となってサステナビリティ経営に取り組んでいきます。

▼サントリーグループのサステナビリティ

<https://www.suntory.co.jp/company/csr/>

▽本件に関するお客様からの問い合わせ先

サントリーお客様センター <https://www.suntory.co.jp/customer/>

以 上

水と生きる SUNTORY

自然と水の恵みに生かされる企業として、貴重な水資源を守ること。

さまざまな企業活動を通じて社会に潤いをもたらし、社会にとっての水であること。

社員一人ひとりが水のように自在にしなやかに挑戦できる会社であること。

「人間の生命（いのち）の輝き」をめざす想いを、「水」に託して伝えるメッセージです。